

問題 1

(1) 関数 $f(x) = \frac{1}{\sqrt{2-x}}$ を $|x-1| < 1$ に対して

$$f(x) = \sum_{n=0}^4 a_n(x-1)^n + R(x), \quad \lim_{x \rightarrow 1} \frac{R(x)}{(x-1)^4} = 0$$

と表すとき、係数 a_n ($0 \leq n \leq 4$) をすべて求めよ。

(2) 次の問いに答えよ。

(i) $t = \tan \frac{x}{2}$ と置くと、 t を用いて $\cos x$ を表せ。また $\frac{dx}{dt}$ を t で表せ。

(ii) $t = \tan \frac{x}{2}$ と置換して定積分 $I = \int_0^{2\pi/3} \frac{1}{5+4\cos x} dx$ の値を求めよ。

問題 2

(1) 関数 $f(x, y) = \cos x + \cos y + \cos(x-y)$ について、3点

$$(i) (x, y) = (0, 0), \quad (ii) (x, y) = \left(\frac{2\pi}{3}, -\frac{2\pi}{3}\right), \quad (iii) (x, y) = (\pi, 0)$$

は、 $f_x(x, y) = 0$, $f_y(x, y) = 0$ を満たす。このとき各点で $f(x, y)$ が極値を取るかどうかを判定せよ。また、極値を取る場合には極値を求めよ。

(2) 重積分 $I = \iint_D y^2 \sqrt{1-x^2} dx dy$, $D = \{(x, y) \mid x^2 + y^2 \leq 1, y \geq 0\}$ の値を求めよ。

問題 3

(1) 次の x, y, z に関する連立一次方程式が、解を持たないための定数 k の条件を求めよ。

$$\begin{cases} -3y + z = -3 \\ 3x - 2z = k \\ -x + 2y = 1 \end{cases}$$

(2) 行列 $A = \begin{pmatrix} 2 & -3 & 1 \\ 3 & 0 & -2 \\ -1 & 2 & -1 \end{pmatrix}$, ベクトル $\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$, $\mathbf{b} = \begin{pmatrix} b \\ c \\ d \end{pmatrix}$ について、連立一次方程式 $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$

を考える。 \mathbf{b} として $\mathbf{b}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$, $\mathbf{b}_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$, $\mathbf{b}_3 = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$ を選ぶとき、 $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$ のそれぞれの解 \mathbf{x}_1 ,

\mathbf{x}_2 , \mathbf{x}_3 を求めよ。

問題 4

対称行列 $A = \begin{pmatrix} -1 & 2 & 2 \\ 2 & -1 & 2 \\ 2 & 2 & -1 \end{pmatrix}$ について次の問いに答えよ。

(1) A の固有値、固有ベクトルをすべて求めよ。

(2) グラム・シュミットの正規直交化法で、(1) で求めた固有ベクトルから正規直交系 $\{u_1, u_2, u_3\}$ を求めよ。